



2024年8月8日

各位

会社名 株式会社 鈴木  
代表者名 代表取締役社長 鈴木 教義  
(コード: 6785、東証プライム)  
問合せ先 経理部長 佐藤 則明  
(TEL. 026-251-2600)

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、今後の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針を下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

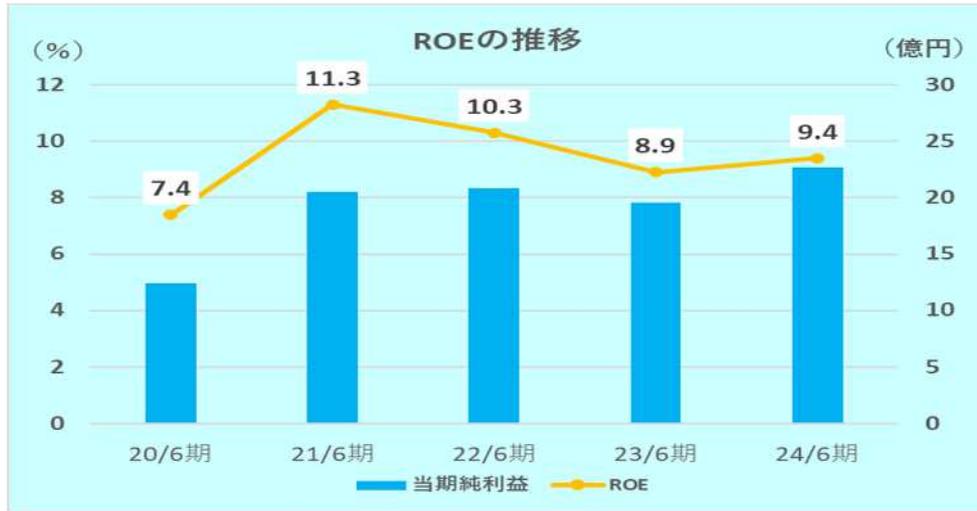
##### 1. 現状評価

当社の自己資本利益率（ROE）の直近5期平均は9.5%と高い水準を維持しております。一方、株価純資産倍率（PBR）は株価の上昇が見られた2024年6月末時点でも1.0を下回り、企業価値が資産価値より低いと評価されております。PBRが低水準で推移している理由として、当社の成長戦略や方針に関して株主や投資家に十分な理解を得られていないことに加え、純資産の増加に対するリターンが期待水準以下と認識されていることが考えられます。

##### 【業績および経営指標等の推移】

決算期	2020年 6月期	2021年 6月期	2022年 6月期	2023年 6月期	2024年 6月期
売上高（百万円）	28,126	32,708	26,085	26,374	27,726
営業利益（百万円）	1,734	3,097	2,958	3,151	3,369
親会社株主に帰属する当期純利益 （百万円）	1,236	2,051	2,087	1,956	2,267
1株当たり純資産（円）	1,190	1,334	1,473	1,598	1,757
ROE	7.4%	11.3%	10.3%	8.9%	9.4%
PBR（倍）	0.60	0.73	0.53	0.59	0.81
配当性向	12.8%	14.0%	13.8%	22.0%	29.1%
株主資本配当率DOE	0.9%	1.5%	1.4%	2.0%	2.8%
配当利回り	1.5%	2.0%	2.6%	3.2%	3.3%
期末株価（円）	714	976	783	942	1,415

※2020年6月期および2021年6月期の売上高は「収益認識に関する会計基準」適用前の金額で表示しています。



※ ROEは高水準で推移し1株当たり純資産は増加していますが、株価には反映されずPBRは1倍以下となっています。



※ 1株当たり配当および配当性向の推移は増加傾向ですが、株価への影響は弱く株主還元政策の見直し検討が必要です。

## 2. 方針・目標

現状分析、評価を踏まえ、資本コスト及び資本収益性等を十分意識しながら、以下の重点目標を立て、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

- (1) ROE 10.0%以上
- (2) PBR 1.0 倍以上

## 3. 具体的な取り組み

### (1) 成長戦略の実行による持続的な収益性の向上

当社の既存事業である電子部品および自動車電装部品の拡大に加え、車載部品等や自動装置等の新分野への展開を加速させるとともに、自社開発の合理化設備を用いた生産性向上により収益性を向上させます。

### (2) 株主還元の拡充

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつと位置づけ、業績および財務状況、今後の事業展開等を総合的に勘案したうえで、安定的な配当の継続を基本方針としております。この基本方針の一層の実践を図り株主還元を拡充するため、本日（2024年8月9日）発表の「株主還元方針に関するお知らせ」に記載の内容を適用していきます。

### (3) サステナビリティ経営の推進

当社は、サステナビリティ経営の推進にあたり、社長が統括する各種委員会を横断的に設けることでサステナビリティに関するガバナンス体制を構築し、取締役会がこれを統治しています。

主なサステナビリティ項目

- ① 環境に関しては、カーボンニュートラル社会への実現に向けて、温室効果ガス排出量を削減させる諸施策を実行し、また環境配慮製品拡大の目標達成に向けた取り組みを強力に推進してまいります。
- ② 人的資本に関しては、多様な働き方ができる各種制度の整備や経営環境の変化に対応できる人材育成、女性社員の積極的な採用や管理職への登用などの取り組みを加速させていきます。

### (4) IR活動の強化

株主・機関投資家との対話を継続的に実施し、当社の持続的な成長戦略を共有するとともに、当社への意見や期待する事項について取締役会で議論し、その対応について積極的な発信を行ってまいります。

以 上